

## 目標達成計画

作成日：平成 26年 3 月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	小規模多機能ホーム、グループホームは同じ内容になっており漠然としている。職員が毎日の業務の中で意識しやすい理念を検討したほうがよいのでは・・・という課題がある。	職員が理念に込められた言葉の意味を真に理解しながら日々仕事にあたることのできる。	ミーティング等で全職員と話し合い、小規模多機能ホーム、グループホーム各々の理念を作り上げる。	3ヶ月
2	10	利用者、ご家族からの意見、要望を汲み取る為に意見箱を玄関先に設置しているが殆んど投函される事がなく、来館時で対応していることが多い状況にある。意見を言いたいと言えない利用者、ご家族がいるのでは・・・と懸念される。	意見や要望が言い易い環境を作る	送迎時や電話などで意識的に意見や要望を聞き入れ、話しやすい雰囲気作りにも努めていく。面会時にはコミュニケーションを密にとりご家族との信頼関係を築いていく。	12ヶ月
3	23	開設から入所している利用者が多く、認知症状も進み状態も低下している。ご自身での意思の表出が困難になってきている。その方の行動、表情などをより観察した認知症ケアが求められている。	ケアのばらつきがないようにミーティングや申し送りを通じて、職員が同じ思いでその方のケアにあたることのできる。	専従の職員を増やし、ケアのばらつきを軽減する。ケアマネージャーと担当がその方の状況を分析し、どのような気持ちでその方が過ごしているのかを観察、ミーティングや申し送りで話し合いケアの方向性を周知させていく	12ヶ月
4	26	ケアプランに沿って記入しやすい書式に1月から変更したが、記録の書き方が職員に浸透しておらず、また何を書いてよいのか理解できていない状況にある。	記録の書き方を把握できる。	利用者一人一人の介護計画をミーティングや担当者会議などを通じて確認して行く。何を観察し何を意識して記録していくかを担当職員と確認し記録のマニュアルを作る	12ヶ月

